

タイトル	生徒の教育活動を支えるボランティア組織の取り組み
名称（学校・地域）	東北中学校0学年「三葉組」
日時・場所等	※必要がある場合は記載
ホームページアドレス	<a href="http://www.nagano-ngn.ed.jp/tohokujh/">http://www.nagano-ngn.ed.jp/tohokujh/</a>

### 【教育活動の内容】

東北中では、独自のスタイルで、生徒や保護者と地域の関わりを目指そうと考えました。それが「0学年三葉組」です。一昨年4月に第1回運営委員会、6月に「第1回学級会」を開催し、三葉組が産声をあげました。活動の合言葉は「ムリはせずに、努力はしましょう！」です。三葉組に入学してくれた皆さんから出てきたことばです。地域・保護者・職員、多くの方に会に所属していただく。そして、活動に応じて会員が無理のない範囲でやれることや協力できることを、仲間として楽しみながら協働して取り組んでいくようにする。そのような取り組みの中で、人と人とのつながりをつくり、学校と地域との新しい関係を構築していきたい。そして、やがて学校が学校のもつ施設・人材を利用し、地域社会の文化センター的な役割を担っていけるようにしたいと考え、活動をしています。

まずはPTAに協力しようということで「資源回収」に参加しました。生徒と共に活動する取り組みができました。そして「何をやるにしても、生徒のことを知ろうじゃないか」ということで、同じ釜のメシを食う「生徒と給食を食べる会」を行いました。回を重ねる毎に参加者も増え、また、生徒との触れ合いの場を広げ、かかわりを深くすることができました。このかかわりを深くすることで、さらに本校生徒が抱えている問題に気づき、自分たちがもっと協力できることをしたいという願いをもって、校長先生との面談もしました。その結果、さらに突っ込んで生徒とかかわる場面も生まれてきました。このようにして「三葉組」は、常に新しいものを模索しながら活動を広げていきます。

三葉組の大きな役割の一つとして「キャリア教育」への協力があります。一昨年10月、3年生に進路のアドバイスをすることからスタートしました。また、学習のまとめとしての「学習発表会」では、保護者と共に、会に参加し、アドバイスしました。今年度は、2学年が「ふるさと三葉職場訪問タイム」という活動を企画しました。この活動は、職場体験学習に先立ち、生徒が積極的に働く人にインタビューしようとする企画です。今までは、どちらかという生徒が受身の立場で、三葉組の方がリードすることが多かったのですが「給食を食べる会」で三葉組の方々とかかわりを深くした生徒は、予想以上に臆することなく、三葉組の方々に対してインタビュー活動を行うことができました。

このように、生徒の学びを支え、生徒と共にふるさと作りをしていく。また、仲間の輪を広げていく。そんな活動を、地道に続けていきたいと考えています。地域の皆様も、ぜひ三葉組にご参加ください。

